

開 会（午後4時15分）

○**亀山恭子委員長** 出席委員が定足数に達しておりますので、ただいまから予算常任委員会
を開会します。

○議案第12号 令和3年度所沢市一般会計予算

○**亀山恭子委員長** 昨日に引き続き、議案第12号「令和3年度所沢市一般会計予算」の審査を行います。

議案第12号「令和3年度所沢市一般会計予算」を議題といたします。

初めに、開会前に粕谷委員から、お手元に配付してありますとおり、議案第12号に対する修正動議が提出されました。これを本案と併せて議題とし、提出者からの説明を求めます。

○**粕谷不二夫委員** 令和3年度所沢市一般会計予算に対する修正動議について説明をさせていただきます。修正案ですが、一般会計の総額を1,074億4,000万円から1,074億円、4,000万円の減額修正をするものです。内訳としましては、歳出として土木費の都市計画費を4,000万円減額し、歳入としては市債から4,000万円を減額するものです。修正理由としましては、所沢カルチャーパーク施設整備工事のうち、大型遊具の整備費にかかる経費を減額するために動議をするものです。修正の論点を申し上げます。1点目に、カルチャーパークの整備費に、約20億円の特定財源があると聞いておりますけれども、これまで123億円を投資しており、莫大な事業とみております。特に、令和3年度の市民税の見込みを見ますと、新型コロナウイルス感染拡大に伴いまして、約12億円の落ち込みが見込まれております。財政状況が厳しいと言っている中で、特にカルチャーパークの中のクライミングネット、8,000万円をかけておりますけれども、これだけの華美なものを設置してよろしいのかどうかということであります。2点目としまして、この大型遊具を設置することにより、市内外から多くの人を呼び込むと説明してはおりますけれども、そうしますと、駐車場の問題も出てきております。駐車場と大型遊具、その辺のバランスも考慮しなくてはならないというふうに考えております。次に、本来は、このカルチャーパーク、築山だけでも十分子供たちは遊べると思います。遊具を設置するにしても大型遊具ばかりが目立つのではなく、自然と調和した遊具であるべき、ということで減額修正をいたしました。また、本来、所沢カルチャーパークは自然環境保全型の公園として、武蔵野の平地林と、そこに息づく多様な生物を育む環境を保全・創出すると、基本計画の目標にうたわれています。自然と一体化という事は、基本方針にもうたわれております。以上のことから、先ほど言いました4,000万円の減額を修正案として出すものです。

○**亀山恭子委員長** 提出者からの説明は終わりました。

これより修正案に対する質疑を求めます。

○**石原 昂委員** 提案者の粕谷委員に質疑をさせていただきます。コロナ禍の中で財政が厳しい状況との御説明でしたが、確かにそうした状況であることは私も理解しております。その中でもこのカルチャーパークの整備事業を減額の対象にされた理由です。縷々御説明があったかと思うんですけれども、予算の中には他の分野の事業でも事業費が大きなものになる

というものは他にもあると思います。なぜこちらのカルチャーパークの整備事業を特定して選ばれたのか。例えば、三ヶ島のワゴンバスなんかも、非常に高額な事業費が費やされているわけです。そうしたほかを対象とせずに、こちらを対象とされた理由を伺います。

○粕谷不二夫委員　先ほど提案理由の中で申し上げましたとおり、このカルチャーパークは当初、自然環境保全型の公園としてスタートしておりまして、この基本方針でも言われておりますけれども、ふるさとの多様な生物を育むみどりの拠点とするというふうな基本方針もあります。地域の自然と調和したふるさとの景観を作ると、風景を作ると、できるだけ自然を生かした形でこのカルチャーパークを作るという形でスタートをしておりまして、そういったところから、他の事業とは趣旨が違ってくると思ひまして、華美な予算はいかかなものかというものであります。

○石原 昂委員　今の御答弁の中で、当初の計画は自然の景観保護とか、そういうところが念頭にあったということでしたけれども、当初の計画というのは当時の齋藤市長時代だったと思いますけれども、かなり年月も、何十年も経っている話だと思います。逆に、120億円以上の市民の税金を費やして、景観保護、軽く散歩ができるようなところのみというのは、ちょっと税金の使い方として、もっとよい活用の仕方があるんじゃないのかなと思います。むしろ、多くの子供たちに楽しんでもらうような有効活用の方が、特に子供たちに、還元できるのではないかと考えておりますが、その辺の、費やした金額を市民に還元していくというその考えについては、いかななものをお持ちでしょうか。

○粕谷不二夫委員　確かにですね、当初の計画から、平成11年の計画だったかと思ひます。かなり経っておりますけれども、その前にですね、先ほど石原委員の方から言われました120億円、実際には先ほど言いましたが特定財源20億円がありますので、そうすると103億円という形になるかと思ひます。なぜここをやらなくちゃいけないかということですが、委員会の中でも駐車場の問題がかなり議論をされたと思ひます。これだけ大型遊具を設置して、そうすると市内外から多くの来場者が来るといふ形の説明もございました。当然、子供だけでなく大人も来ると思ひます。そうすると、駐車場の設置は、今のKADOKAWAもそうですし、航空公園も車が駐車場に入れないうるようなのも見受けられます。そういったところから、大型遊具を設置するのであれば、駐車場も整備すべきだ、というふうな意見も委員会の中でもあったと思ひます。ただ、駐車場は広くはしないということなので、その辺のバランスを考慮すると、大型遊具をもう少し縮小した形で、それでも十分子供たちは遊べるものと思ひております。

○石原 昂委員　駐車場とのバランスで、駐車場を増やすのではなくて、遊具を削るといふようなお考えだと思いますけれども、駐車場については、例えばこれは、民間、周りの民地で、民間が主導で整備をしていくといふような考えも、カルチャーパークが活性化されれば

出てくるというふうに思っております。そうした民間の力に任せるという考えもあると思いますが、その辺はいかがですか。

○粕谷不二夫委員 駐車を民間に委ねるとするのは、あくまでも、他力本願というか後の問題であって、まず、行政として公共施設を設置するのであれば、その辺の環境をしっかり設置、整備していかなくちゃいけない、これは行政の責任だというふうに思っております。先ほど言いましたように、駐車場はもう増設しないというようなことも聞いておりますので、そうであれば、できるだけ自転車を使うという手段もありますけれども、その辺の調和、バランス、先ほども言いましたけれども、その辺も考慮しなければいけないと考えております。

○石原 昂委員 こうした公園に子供連れで遊びに行く親の立場としては、近所の公園なんかですと、非常に遊具に列を作って並んだり、あるいはちょっと年齢の違う子供と一緒に遊ぶとなると、子供同士がぶつかってしまったり怪我をするということが近くの公園なんかでも見受けられて、子育て中の親たちはそういったところを心配しております。こうした大型遊具がちょっとということでしたけれども、大きな遊具があることで、非常にそういった懸念等がない中で子供たちがのびのびと遊べる場所となるのかと思っております。そうしたちょっと子育て中の親についても、近隣の公園なんかでは心配だということがありますけれども、そうした場所の確保ということについては、どう考えられますでしょうか。

○粕谷不二夫委員 まず、公園なんですけれども、近くの公園の話もされましたけれども、ここの公園の設置、基本方針の中で、公園については自然環境の保全を図りながら既存の多機能施設中心型と異なる魅力と所沢市を市の内外にアピールする公園として設計するという形を取っております。そういうことからしても、この修正案については理がとおっているというふうに思っています。

○石原 昂委員 削減額が4,000万円で、ちょうどクライミングネットが半分、半額になる形ですけど、52枚のネットが27枚のネットに単純計算でなるということでしたけれども、同様の規模感として、他の事例のを御覧になったことがあるのでしょうか。公園の事例などを把握されておれば御答弁をお願いしたいと思います。

○粕谷不二夫委員 他の公園の事例は確認しておりません。ただ、委員会の説明の中で、先ほど石原委員は52枚と言いましたけど、54枚ですね。54枚の半分で27枚になるんですが、これについては、質疑の中で、54枚が1セットではなくて、金額によってどうにでも変えられるというふうに聞いておりますので、27枚あれば十分遊べるものと確信しています。

○石原 昂委員 そうした規模の話ですけども、削減を行って、遊び場が縮小してしまうということで、来場者数にも影響が出ると思います。結局のところ、半端なものを作っては、せっかく投じた市民の税金に対して費用対効果が、削減した分よりも、結局は費用対効果の減少の方が大きくなってしまわないかと、そういったことを一番懸念しております。

そのことについて、お伺いしたいと思います。

○粕谷不二夫委員 遊び場の縮小ということなんですけれども、本来は子供たちって築山で何もなくても、子供たちって自由に遊ぶんです。そういうふうに思っています。遊具を与えるのではなくて、子供たちで自分たちで遊びを考えてやるということが凄く大切なことだと思いますし、それも子育て支援になるかなど、逆にこちらとしては思っています。また、来場者が少なくなるということなんですけれども、逆にこれは本末転倒で、先ほど言いましたように、大型遊具で来場者数を増やすということであれば、委員会でもかなり議論しましたけれども、駐車場についてはどうするんだという話があると思います。結局その話にまた戻ってしまうかと思います。

○石原 昂委員 確かに粕谷委員の議論の組み立てというのは私も分かりましたけれども、粕谷委員は子育てをされてきた中で、子供と一緒にこうした公園で一緒に遊ばれた経験というのはどれぐらいお持ちなんですか。

○粕谷不二夫委員 私のことなのでそれをどこまで答えるかですけど、結構遊んでいました。

○亀山恭子委員長 以上で修正案に対する質疑を終結いたします。ここで、暫時休憩いたします。

休 憩（午後4時31分）

再 開（午後5時0分）

○亀山恭子委員長 再開いたします。これより、修正案を含め、意見を求めます。

○矢作いづみ委員 議案第12号「令和3年度所沢市一般会計予算」について、日本共産党所沢市議団を代表して修正案に賛成、原案に反対の立場で意見を申し上げます。

反対する項目は、債務負担行為のうち、戸籍システム改修委託料、一般廃棄物減量化方策支援業務委託料、東部クリーンセンター長期包括運營業務委託料、西部クリーンセンター長期包括運營業務委託料です。なお、詳細については討論で述べます。

次に、反対ではありませんが意見を申し上げます。総務費の行政管理費のうち、中核市市長会負担金は、市長がオブザーバー参加する予算です。コロナ禍の中で保健所の役割と必要性が求められており、中核市についての情報交換の場とのことですが、せっかく参加するなら保健所設置にむけた取り組みを検討すべきです。衆議院議員選挙執行費には、衆議院選挙執行にあたり期日前投票所の増設予算が含まれておりません。請願が採択され議会でも増設を求める意見が出されている中、具体的な検討を進め、選挙管理委員会の中で議論し、新年度行われる衆議院選挙でぜひとも実現していただきたい。障害福祉総務費では、福祉タクシー券が昨年より変更されました。埼玉県協議会でタクシーの初乗り運賃が変更されたことにより利用者の負担が増えており、利用しやすいあり方を求めます。次に、扶助費のうち難病患者見舞金は、一生に一度の支給に変更されましたが、難病を抱え、働きたくても働けない

方もいる中、毎年の支給に戻すべきではないでしょうか。生活保護事務費では、生活保護の申請の際の扶養照会ですが、義務ではないとの国会答弁にもあるように、申請の妨げとなっており見直していただきたい。企業誘致活動推進事業では、新たな市民の雇用や障がい者雇用の実績が令和2年は0件でした。雇用促進に向けた課題の検証と対策を強く求めます。三ヶ島工業団地の立地適正化を進める事業は、地権者の方々は事業内容や制度についてわからない中で不安を抱えています。組合施行ではありますが、市が関わり、制度の周知など説明会開催と丁寧な対応を求めます。教育指導費の報酬のうち、会計年度任用職員でスクールカウンセラーの予算が計上されておりますが、専門性が求められる特別職であるべきであり、処遇の改善と全校配置を求めます。文化財保護費のうち、歴史的建造物整備基本方針策定委員会委員報酬は、党市議団としても、川越同様の古い歴史的建造物を生かしたまちづくりを提案してきた経緯があります。今回建物をご寄付いただけるということで、建物を生かした街づくりが期待されます。旧町のまちづくりや所沢駅からの回遊性の検討も進められ、地域循環型経済にも寄与するよう期待します。教育センター費のギガスクール構想に基づくICT関連予算ですが、教育活動の主体は教員の授業であり、あくまでも道具の一つとして活用し、子供の健康問題に配慮して教育活動に生かせるよう、ICT支援員の全校配置など体制の充実を求めます。教育予算のうち、要保護及び準要保護児童・生徒費は、コロナ禍の中で制度の周知徹底と丁寧な対応を求めます。土木費のカルチャーパーク建設費は、当初の構想から次々と変更されてきましたが、自然と環境保全型公園です。自然との共生型を重視し、幼児も含めた子供たちが利用できる場とすべきと考えます。施設の安全、近隣住環境の保全、駐車場の配置などの十分な配慮と、管理運営は直営を求め、意見といたします。

○石原 昂委員 議案第 12 号「令和 3 年度所沢市一般会計予算」について、修正案に反対、原案に賛成の立場から、自由民主党・無所属の会を代表して、意見を申し上げます。令和 3 年度所沢市一般会計予算の総額は、1,074 億 4,000 万円、昨年度比で約 1% 増となっております。新型コロナウイルス感染症による国内経済の悪化の影響を受け、税収も厳しい状況となることが予想されます。しかしながら、コロナ禍にあっても、所沢市が持続可能な発展を遂げていくために、コロナ禍でも必要な経費、コロナ禍だからこそ必要な経費を見定め、今こそ行政に期待される役割を發揮されていくことが求められています。

個別の事業について意見を申し上げます。地域公共交通検討事業について、令和 3 年度はところワゴンの運行が始まりますが、モデルケースとしてよく分析した上で引き続き、市内他地域でも市民のニーズに合致する形で、新たな交通手段の導入に向け、運行ルートや時刻表などの検討を行っていただきたく思います。新型コロナウイルスワクチン接種事業については、引き続き国の動向を注視されるとともに、医療関係機関との連携を緊密にし、市民が安心して接種できる接種体制の早期整備を期待いたします。一般廃棄物減量化方策推進事業

について、市民生活への影響を十分に考慮される形で必要な配慮を取り入れたうえで、最善の道を検討されていくことを求めます。所沢市観光情報・物産館整備事業について、いよいよ令和3年5月にオープンを控えます。隣接するKADOKAWAのところざわサクラタウンとの相乗効果を発揮され、所沢の魅力を世界中に発信できる施設となることを期待いたします。マンション管理適正化支援事業について、マンション管理の知見を持つ専門家とよく連携し、市民の住環境、街全体の住環境を守るため、先を見据えた取り組みに期待します。所沢カルチャーパーク築造事業については、長年の地道な取組を評価いたします。長年の事業の集大成として、令和3年度に着実に進めていただきたいと考えます。

最後に、未だ予断を許さない新型コロナウイルス感染症が流行している状況下にあります。市民とともに必ず、コロナを乗り越えるという決意のもと、令和3年度の各事業に力強く取り組んでいただきたいと申し上げて、賛成の意見といたします。

○村上 浩委員 公明党を代表して、議案第12号「令和3年度所沢市一般会計予算」について意見を申し上げます。予算編成方針を見る限り相当な歳出削減を予想していましたが、公共施設の老朽化対策、社会保障経費及びインフラ整備、投資的経費のバランスも考慮されており、加えて新型コロナウイルス感染症対策、ポストコロナに向けての支援策、ゼロカーボンシティという壮大な目標に対する取組など、結果的に市民サービスの低下を招かない予算編成と判断いたします。新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有のアクシデントに見舞われながらも、将来都市像実現への着実な予算編成であり、加えて藤本市長が通奏低音の如き貫いてきた政治姿勢・理念が具体的な形として事業に組み込まれています。未来の子どもたちに継承すべき「善きふるさと」とは何かという具体的は施策がちりばめられた予算編成と評価いたします。そのことを踏まえ以下、意見を付します。

西所沢駅西口改札口開設に向け、藤本市長の強力なリーダーシップのもと、早期に協定締結を図ること。大変厳しい財源状況下での予算編成に鑑み、予算執行の際には最小の経費で最大の効果という地方自治法の基本的な考えに立ち返り、無駄を排し、経費削減に取り組むこと。財源確保については基金等の効率的運用、基幹税にとどまらず、諸収入の着実な収納、国・県の補助金など、あらゆる財源の確保に努めること。歴史的建造物の整備活用事業に関しては、国登録有形文化財を始め、特殊性を有する貴重な財産であり、整備基本方針策定委員会において、それぞれのお立場から、様々な角度で、ご議論をいただき、基本方針の策定をお願いしたい。加えて、市民文教常任委員会の議論も真摯に受け止め、所沢の「善きふるさと」継承のシンボルとして相応しい基本方針とすること。現在、新型コロナウイルス緊急事態宣言発令中です。担当職員、医師会をはじめとする多くの関係者の皆様には、大変なご苦勞をおかけいたしますが、先ずは一大事業である新型コロナワクチン接種事業を、安全かつ迅速との方針に則り、無事故大成功を期して頂きたい。特

に、接種体制の大きな影響を与えるワクチン供給量等、国の情報収集に努め、市民に不安が募らないようきめ細やかな情報提供をお願いしたい。そして、ポストコロナ時代にふさわしい所沢市民の新たな幸せ実現のため、コロナ克服に力を尽くして頂きたい。公明党としても市民の声に耳を傾け、今後も的確な政策提言に努めて参ります。所沢市カルチャーパーク築造事業については、駐車場整備に関して自然環境を保全する方針と、広域から集客するという相矛盾する論点が議論されました。今回修正案が提案されましたが、カルチャーパークの運営方針の整合性も凶る観点から、公明党は大規模遊具の縮小も検討することを求めます。以上、賛成の意見といたします。

○長岡恵子委員 議案第12号「令和3年度所沢市一般会計予算」について立憲民主党・無所属の会を代表して、修正部分に賛成かつ修正以外の部分にも賛成の立場から意見を申し上げます。

所沢カルチャーパーク建設費ですが、そもそもカルチャーパークは自然を残したコンセプトですが、平成5年からの事業開始以来、土地の買収等が難航し、先が見えない状況でした。そうした状況を鑑み、平成30年6月議会において、建設環境常任委員会として「管理・作業棟などの未整備の施設については、2022年度からの供用開始に間に合うよう、現在の予定配置の見直しを平成30年度中に早急に行うこと。」と提言した経緯があります。これを受けて、公園整備に取り組んでいただいたことは大変評価します。しかし、クライミングネットの予算は前回提示されていた予算より約4,000万円膨れ上がりました。この部分の増額は事業にどれくらい効果があるのか不明です。規模を大きくしても使用できる年齢は6才から12才までと制限されている施設にあえて増額が必要なのでしょうか。そうした考えから修正部分に賛成です。これとは別に担当課の今回の対応には大いに疑問を感じます。新型コロナウイルス感染拡大で状況が一変したことで、令和2年第2回臨時会において所沢市議会全会一致で可決した新型コロナウイルス感染症対策に関する決議で、新型コロナウイルス感染症対策に必要な予算を創出するために、年当初に予定されていた事業を凍結し、組み替えを行うことの5つの事業の中に所沢カルチャーパーク築造事業（築山）が盛り込まれましたが、建設部長の答弁によると全く決議は無視されていたことが分かりました。この事は議会軽視ではないでしょうか。大変遺憾です。また、驚いたことには平成5年から始まり約120億円の経費を投入した事業にも関わらず、議案説明であるヒアリングの段階でイメージ図を利用して説明した会派がある一方で、イメージ図を全く見せない会派があったことで、ヒアリングにおける会派間格差が明らかにあったことです。さらに委員会の質疑まで資料が提示されず、築山のすべり台の工事費、駐車場の台数、ピオトープのための井戸設置などの初めて分かったことがありました。残念ながらここでも議会軽視と言わざるを得ないのではないのでしょうか。今回の質疑を通して、多くの問題が質疑をされまし

たが、その中でも駐車場の台数についてですが、交通渋滞が今の段階で十分予想されます。渋滞対策を十二分に取組んでください。令和3年度予算はコロナ禍における予算編成で色々のご苦勞があったことと思います。新型コロナの感染拡大は変異株が確認され、まだまだ先が全く見えないとも言えます。今後、国からの補正予算を伴う新たな施策を求められるかもしれませんが、ご対応をお願いします。以下会派として、その他修正部分以外の予算についても予算執行にあたり、いくつか懸念や要望もありますので、意見を申し上げます。歴史的建造物整備活用事業ですが、高層マンションが立ち並ぶようになってしまった旧町の昔の街並みを少しでも文化財として残そうとすることは大いに理解します。しかし、質疑を通して、将来どのぐらい費用がかかるのかは明示されませんでした。億単位の事業は一度始めると、途中で立ち止まることは現実的にはほとんど不可能です。費用が分かり次第、議会に速やかに報告をお願いします。スクールカウンセラー学校派遣事業につきましては、週に1回学校に派遣されているようですが、先日の部長のご答弁でもありましたように、常駐型のスクールカウンセラーを各学校に配置することが望ましいと考えます。理由として、スクールカウンセラーの業務内容は、1 児童生徒に対する相談・助言、2 保護者や教職員に対する相談（カウンセリング、コンサルテーション）、3 校内会議等への参加、4 教職員や児童生徒への研修や講話、5 相談者への心理的な見立てや対応、6 ストレスチェックやストレスマネジメント等の予防的対応、7 事件・事故等の緊急対応における被害児童生徒の心のケアなどさまざまな業務があるからです。また、「スクールカウンセラーは、症状や問題行動が発現することを防ぐために、予防的対応を行なうことができる。」とあるように予防的対応を可能とするためには、やはり常駐型のスクールカウンセラーを各学校に配置することが望ましいと考えます。先の部長の答弁に常駐型のスクールカウンセラーを配置するには費用がネックとなっているという趣旨のご答弁もありました。費用を捻出できるよう教育委員会の方からも何がしかの働きをお願いいたします。西所沢駅西口改札口開設事業は質疑を通して、株式会社西武ホールディングスとの費用負担で色々のご苦勞されていることが分かりました。引き続き粘り強い交渉をお願いします。令和3年度中には確実に行われる衆議院議員選挙執行事業ですが、コロナ禍での選挙は避けられないのではないのでしょうか。前回の衆議院総選挙の際には関東地方に台風が襲い、市役所の1階ロビーの期日前投票所は混んでいるを通り越している状況の写真をかつて石原議員が一般質問で紹介していました。今回の予算計上に当たり、以前から議会が要望している期日前投票所を増設しないことも残念ですし、あってはならないことですが、万が一、期日前投票所でクラスターが発生した場合に代替の場所の検討されていないことが質疑を通して分かりました。選挙管理委員会には選挙執行に当たり、今以上の危機管理の意識を持って頂きたいと思います。武蔵野線旅客輸送改善対策協議会負担金ですが、

秋田議員の質疑及び一般質問にありましたように、昨年末にJR東日本と株式会社西武ホールディングスの連携が発表されました。このニュースは今後の所沢市の利便性等を考えると大変大きな出来事でした。ぜひ協議会の要望に西武池袋線とJR武蔵野線の乗入れを取り上げてもらうよう尽力してください。民生委員・児童委員活動支援事業についてですが、民生委員のなり手不足、そしてご負担については十分理解します。しかし、その一方で、目的意識を持って活動されている方もいます。そうした方々の気持ちも配慮した取組にしてください。一般廃棄物減量化方策推進事業ですが、正式には決定していませんが、市はいよいよごみ有料化の方針を固めたことが質疑を通して分かりました。2018年10月時点での数字ではありますが、有料化している自治体の割合は全国ベースでは市区町村では63.6%です。しかし、都道府県別にみると埼玉県は岩手県、神奈川県に次ぎ15.9%の自治体しか有料化しておらず、下から3番目の状況です。ごみ減量がなかなか進まない中ではありますが、ごみ有料化は市民全体に影響が及び、大きな話です。まずは、市民へのごみ減量の現状と奨励をする広報をするべきと思います。確かに、他の自治体の事例では有料化とセットで戸別収集を開始したり、少数の自治体ではありますが、単純従量有料制ではなく超過従量有料制を実施しているケースもあります。まずは、ごみ減量に向けて、有料化以外も含め、市民へ提示するメニューの検討をお願いします。また、視点を変えてごみ有料化の前に拡大生産者責任（EPR: Extended Producer Responsibility）について考えていく必要があるのではないのでしょうか。拡大生産者責任の主な機能は廃棄物処理のための費用又は物理的な責任の全部又は一部を地方自治体及び一般の納税者から生産者に移転することや、生産者に環境配慮設計（Design for Environment）の誘因を与えることなどを目的としています。循環型社会を形成していくためには、必要な議論であると考えます。ぜひ、所沢市廃棄物減量等推進審議会で拡大生産者責任についての話を進めて頂きたいです。質疑を通して、ごみ有料化を一度開始してしまうと再び無料にすることは難しいとの趣旨のご答弁もありました。間違っても保育園民営化の時のような市民を巻き込む混乱を引き起こさないようにしてください。マンション管理適正化支援事業については、大変有意義な事業と思います。管理不全に陥っている要支援マンションへのアプローチは、現実には憲法が規定している財産権の保障の点からなかなか難しいと思います。マンションには住民の高齢化と建物の高齢化の2つの高齢化問題を抱えています。他市の事例などを参考にして今から2つの高齢化問題に取り組んでください。主要地方道練馬所沢線の移管に伴う冠水監視カメラシステム等の移管事業につきましても、リアルタイムで冠水状況が把握できるようになります。先の質疑で360度全体を見渡せるカメラであることがわかりました。工夫をされてカメラに映る範囲を180度とプライバシーに配慮されていることもわかりましたが、近隣で生活する方へのより一層のプライバシー配慮に力を入れていただくこと

をお願いいたします。最後に、副市長室の椅子が7万7,000円の新しい椅子に交換されることが分かりました。中村副市長におかれましては、自分が就任してすぐに交換することで助役、副市長を務めた先輩が使用していた伝統ある椅子を自分が壊したと思われると不安に思われていたのかもしれませんが。しかし、質疑を通して昭和61年以降使用されていたことも分かりました。さぞ、古くて座り心地にご苦労されていたことと推察いたします。今後は気分一新、7万7,000円の椅子では安すぎると言われるぐらい市民のために働いていただくことをお願いします。以上申し上げて意見とします。

○杉田忠彦委員 議案第12号「令和3年度所沢市一般会計予算」について、修正案、修正部分を除く原案、ともに賛成の立場から意見を申し上げます。始めに、新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見えない中、令和3年度に予定されている東京オリンピック・パラリンピック推進事業や外国旅費など、実施予定の事業やイベント等について、コロナ禍の影響により、計画変更や中止等の可能性が考えられ、令和2年度同様に予算の執行に当たっては、慎重に対応していただきたい。次に、総務費のうち、防犯対策費、所沢市客引き対策事業について、行き過ぎた客引き行為を行っている店舗は居酒屋がメインであること、書面による指導の相手は、行き過ぎた客引きを行った個人宛てであるとのことでした。より実効性を伴った改善のため、書面指導については、どの店舗なのか客観的な事実を基に、事業者宛てに対しても文面指導が行えるようにしていただきたい。次に、民生費のうち、就労準備支援事業及び生活困窮者自立促進支援事業について、両事業は、引きこもり対応では、アウトリーチ支援等を考えていること、また今までの自立支援事業において、引きこもり傾向である9名の方を把握しているとのことでした。引きこもり支援は、支援を受ける方との個人的な信頼関係を築くところから始めなければならず、それぞれの特性や事情を理解しつつ、きめ細やかで、粘り強い支援をしていただきたい。次に、衛生費うち、新型コロナウイルスワクチン接種事業15億69万6,000円について、所沢市では24万1,500人の接種を見込み、市が所有する施設、2か所での集団接種と73の医療機関である個別接種を組み合わせる予定とのこと。ワクチン接種は先ず安全第一で行うことが最重要です。その為には接種後の副反応の1つである、重篤なアナフィラキシーショックへの対応を万全にしながら、着実に進めて頂きたい。また、今後、流動的な要素が多分にありますが、予約方法や接種方法については分かりやすい広報に努め、準備状況や接種開始後の進捗状況を見ながら、様々なケースに柔軟に対応し、ミスや混乱を最小限にする努力を行っていただきたい。次に、清掃総務事務費、一般廃棄物減量化方策推進事業について、ゴミ有料化の議論についてですが、市民にとって現状では非常に唐突感があると考えます。まずは、市民目線を最優先に考え、ゴミ減量化に向けて、現状からさらに何ができるかを進めていただき、ゴミ有料化の議論については慎重に取り扱うことを求めます。

次に、土木費のうち北秋津・上安松地区都市緑地保全事業について、この事業は北秋津周辺保全配慮地区のみどりの保全及び管理のため都市緑地として、用地購入するということです。6年間で総額約18億円の費用がかかることが分かりました。北秋津周辺の方々だけでなく、トトロの生まれたところの緑地でもあり、市民全体の緑地として大変重要なところでございます。寄付金の募集については、1つの方法との答弁がありましたが、寄付金については市内外から集まる可能性を感じますので、早急に取り組んでいただきたい。次に、教育費のうち、教育指導費、スクールカウンセラー学校派遣事業について、児童・生徒が悩みなどをリアルに対面で相談できる相手としては、学級担任や教科担任、保健室の養護教員、心のふれあい相談員、本事業のスクールカウンセラーのルートがあると考えております。質疑を通して、埼玉県が、LINEを活用した相談事業を行っていることが分かりました。生徒からの悩み相談は、対面での相談自体を高いハードルと感じることもあるかもしれません。よって、悩みの早期発見・早期対応を念頭に、対面以外の相談ルートである、埼玉県のLINE相談事業の存在を生徒に直接的に周知することを求めます。最後に、修正案に関する土木費、所沢カルチャーパーク築造事業について、コロナ禍での税収の減少や駐車場の課題などを考慮し、大型遊具の1つであるクライミングネットの規模縮小については賛成いたします。築造される高さ10m・滑る長さ41mのローラーすべり台やクライミングネットの遊具については、小学生のみとの年齢制限を設けるということですが、監視員がいない状況ではルールを守っていただけるか不安もあり、監視員をつけるなど安全対策には万全を期していただきたい。また、駐車場については、午前9時から午後4時30分までの利用とのことですが、夏場での時間延長を検討していただきたい。以上を申し上げて、修正案、修正案を除く原案、ともに賛成の意見といたします。

○亀山恭子委員長　以上で意見を終結いたします。

これより、採決いたします。

初めに、修正案について採決をいたします。

修正案に賛成の委員の挙手を求めます。

〔挙手多数〕

挙手多数であります。

よって、修正案は可決されました。

次に、修正案の部分を除く原案の採決をいたします。

修正案を除く部分については、原案のとおり可決すべきものと決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔挙手多数〕

挙手多数であります。

よって、修正案を除く部分については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○閉会中の継続審査申出の件

○亀山恭子委員長 次に、閉会中の継続審査申出の件を議題といたします。

お手元に配信をしました申出表のとおり、閉会中の継続審査の申出を行うことにご異議ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

ご異議なしと認め、そのように決しました。

以上をもちまして予算常任委員会の全ての審査は終了いたしました。

長時間大変お疲れさまでした。

これをもちまして散会いたします。

ありがとうございました。

散 会（午後5時30分）